

【事例発表3】（福岡地区）

上府シニアクラブの取り組みについて

新宮町シニアクラブ連合会

上府シニアクラブ前女性部長 横尾 千妙

皆様、こんにちは。「元気で楽しく明るいクラブ」をモットーに、本日は元気一杯報告をさせていただきます。宜しくお願いします。

初めに我が新宮町の紹介をさせていただきます。新宮町は緑豊かな山々と玄界灘がもたらす海の幸、そして温暖な気候に恵まれ、個性豊かな魅力あるまちづくりとしての整備事業が推進されています。中央駅周辺には数々のマンションや商業施設が建設され、町内には幅広い世代の転入者が増加し、とても住みよい快適な環境が実現しています。

現在の人口は三万三千四百人です。対して六十五歳以上の高齢化率は19.4%となっており、県内では二番目に低い数字となっています。町内の二十五行政区ある中の十六区が単位クラブとして活動しています。男性三百四十五名、女性四百五十名で全会員数は七百九十五名です。

私が所属しております上府クラブの取り組みを紹介させていただきます。私自身も女性部の役を仰せつかり、二年間の活動を通して多くの方との出会いと触れあいにより色々な情報を得ることができました。また何よりもご縁のある方々と大切な絆を深め合うことができること、皆様から元気をいただき日々楽しく活動できることにとても感謝しています。

この数年間に於いてはコロナ禍で中止となった行事もたくさんありましたが、令和四年度十一月の行事では日帰りバスハイクを行いました。四十五名が参加され、そのお一人に最高齢となる九十六歳の方が参加されたことには元気をいただきました。無理をせず長く歩かないようにすることやトイレまでの移動距離に配慮し、買い物やお土産などを楽しそうに買われているのを見て参加者が満足することができました。

十一月のウォーキング大会では多くの方々が参加され、最高齢九十七歳の方も楽しそうに目標を完遂されました。そのあとに抽選会があり、参加者全員から来年も参加したいという声上がり大好評でした。今後のシニアクラブの課題である会員数増大を図るためにも役員が楽しく活動することでクラブ未加入の方に広く知らせることができ、加入増に繋がると思います。元気で明るく楽しいクラブを目指して頑張りましょう。私自身が一日一日有りのままの自分で今日も楽しかったと思える日々を送りたいと思っています。

上府区の役員八人が一致団結して楽しくすることで会員さんにも伝わり会員増に繋がっていく、役員が楽しくしなければ会員が増えないのでと考えています。

また新年会では、少ない予算で役員一同が前日からおでんの仕込みに取りかかり、大根、こんにゃく、厚揚げ、ちくわ、この四品で大鍋ふたつ満たんに作り、皆さんがおかわりをしてすぐに鍋の中は空になりました。その後にくじ引きを行い、コロナのため席からの立ち上りを防ぐため役員が対応し、例年にない盛り上がりでした。

「友情は人生を豊かにする」と言われていますが、行事に参加する度にたくさんの笑顔と感動が生まれ、人脈の和が自身も活性化できることを今後単位クラブを運営する上で是非とも周知していきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

